

経営比較分析表（平成30年度決算）

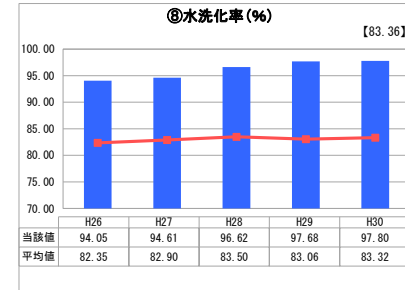
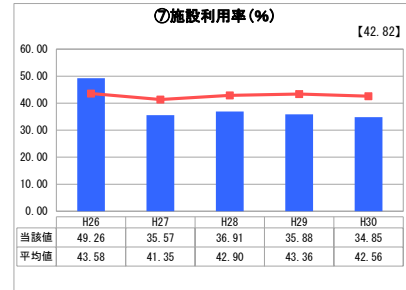
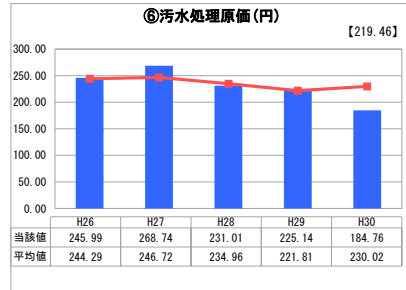
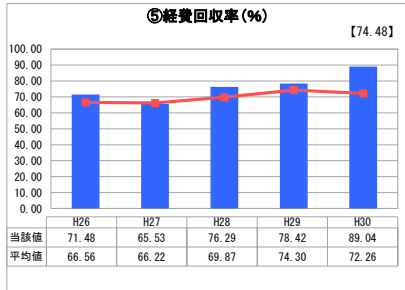
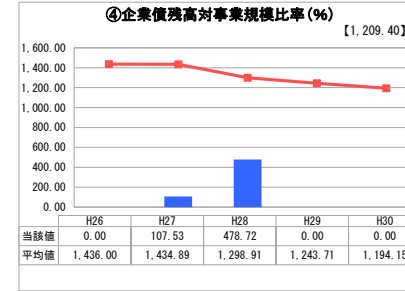
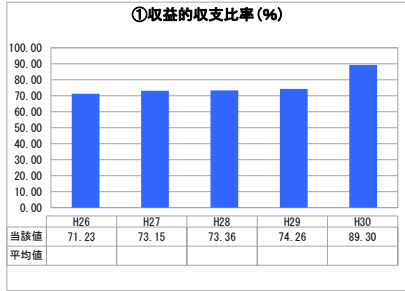
石川県 志賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.50	107.73	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,470	246.76	82.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,320	0.58	2,275.86

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
数値についてはここ数年通増となっている。しかしながら100%を割り込んでいるため維持管理費の削減に努める。

④企業債残高対事業規模比率
本事業における2つの処理区については地理的条件上マンホールポンプの整備数が多く、事業費及び起債額も多額となっているが現在のところ起債償還は順調である。

⑤経費回収率
経費回収率は昨年比で数値が改善し、類似団体平均値も上回っている。次年度もさらなる汚水処理費の削減を行い経営の改善を図りたい。

⑥汚水処理原価
本事業の数値は類似団体平均値を下回ったが、依然高い状態にあるので、更なる経営の安定化のため維持管理費の縮減を図りたい。

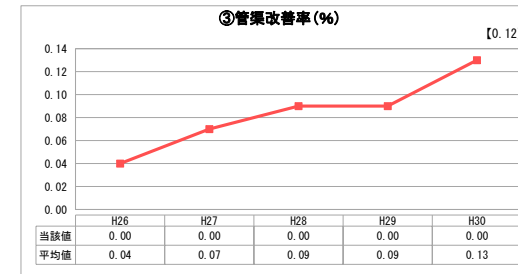
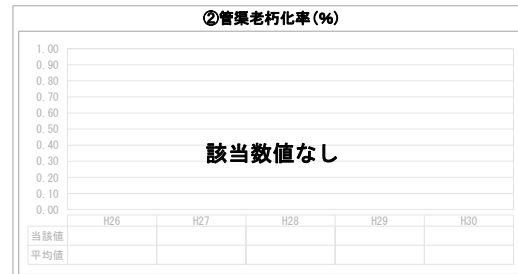
⑦施設利用率
数値上は35%付近を増減している。人口減少による有収水量の減少によるものと推測される。

⑧水洗化率
本事業の2処理区については、水洗化率が類似団体平均を上回っているが、高齢化及び人口減少により有収水量が年々減少している。

2. 老朽化の状況について

処理場施設及びマンホールポンプ場施設が供用開始から耐用年数の経過した機械設備をストックマネジメント計画に基づき改修を行う。
管渠設備については現在のところ更新は考えていない。

2. 老朽化の状況



全体総括

特環事業は整備が完了しており、また接続率も高い地域である。しかしながら人口減少が進み、今後有収水量が減少し使用料収入の減少は避けられない。維持管理コストの削減が不可欠である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。